

書育&音育 スケジュール

12月22日(水)		12月23日(木・祝)	
12:30	受付(SCS教室)	12:30	受付(11番教室)
13:00 ~ 13:45	ドラムサークル[音育] (SCS教室) 演奏者: 長崎大学教育学部 附属小学校6年生 + 長崎大学教育学 学生有志 ファシリテーター:西田治 (長崎大学教育学部 准教授) ドラムを用いたグループでの 即興演奏。 太鼓をたたいて仲よくなる!	大人の部:[書育] (11番教室) 講演:吉永幸司先生 (京都女子大学 発達教育学部 教授) 対象:小学生のお子さんを持つ 保護者の方 120名 京都女子大学附属小学校で 行っている「ノート検定」のこと、 「書くこと」を中心にすえた授業を 通して、子どもたちがどのように 成長したのかを具体的に お話しいたします。	子どもの部:[音育] (SCS教室) ドラムサークル& トーンチャイムのワークショップ ファシリテーター:西田治 (長崎大学教育学部 准教授) 対象:小学校3年生~6年生 30名 参加者のみなさんには、 この後に行われるサプライズ・ コンサートに出演して頂きます。 音楽が苦手でも大丈夫!
移動・休憩		移動・休憩	
		14:10 ~ 14:50	書育&音育コラボからのご挨拶(SCS教室) + サプライズ・コンサート 演奏曲目:柳沼てるこ作曲<<おどるエンピツ>> トーンチャイム合奏 他
移動・休憩		移動・休憩	
14:00 ~ 14:50	一般公開授業[書育] (11番教室) 「手紙」 学習者:長崎大学教育学部 附属小学校6年生 授業者:杉本直美先生 (国立教育政策研究所 学力調査官・教育課程調査官)	15:00 ~ 15:40 ワークショップ①[書育] (504室) 吉永幸司先生(京都女子大学 発達教育学部 教授) + 鈴木慶子(長崎大学教育学部 教授) 対象:小学校3年生以上のお子さんとその保護者の方(親子20組限定) 実力のつくノートづくりを体験してみよう。	
休憩		休憩	
15:00 ~ 15:50	公開ワークショップ[書育] (11番教室) 「手紙を書こう」 学習者:長崎大学教育学部 附属小学校6年生 ファシリテーター:千々岩弘一先生 (鹿児島国際大学大学院 教授)	15:50 ~ 16:30 ワークショップ②[書育] (504室) 吉永幸司先生(京都女子大学 発達教育学部 教授) + 鈴木慶子(長崎大学教育学部 教授) 対象:小学校3年生以上のお子さんとその保護者の方(親子20組限定) ※ワークショップ①と同じ内容です。	
16:00	合唱[音育] 想いをメロディにのせて伝えよう 中山真理作曲:<<ねえ歌おう>> 指揮:西田治 (長崎大学教育学部 准教授)		

デモ
525室
休憩室
510室
記者控室
527室

児童・教師・保護者 みんなで作る教育フォーラム 長崎大学「育シリーズ」第1弾 書育&音育

—知性と感性をバランスよく育てるために—

長崎大学は、子どもたちの育ちをサポートするために「育シリーズ」と題した、一連のワークショップ・プログラムを立ち上げました。その第一弾として、「書育&音育」をお届けいたします。自分の感じていること、思っていること、考えていることを言語で表現することをサポートする書育。それらを音で表現しようとすることをサポートする音育。知性と感性とを共振させる2日間でありますように。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

日時:

平成22年
12月22日(水)
13:00~16:00

12月23日(木・祝)
13:00~16:30

会場:

長崎大学教育学部(文教キャンパス)
本館5階 及び
11番教室・SCS教室

入場無料



「育シリーズ」
イメージキャラクター
「いく」

主催:長崎大学「書育&音育」実行委員会 協賛:書育推進協議会/株式会社 鈴木楽器製作所/(株)株洋音楽器店/ヤマミュージックレーディング株式会社
後援:長崎県教育委員会/長崎市教育委員会/諫早市教育委員会/長与町教育委員会/時津町教育委員会/長崎放送/長崎新聞社/文字・活字文化推進機構/教育家庭新聞社

12月22日
(水)

音育 ドラムサークル! SCS教室

ドラムを用いた即興演奏です。練習やリハーサルはありません。失敗もハブニングも受け入れて楽しんで共にドラムを演奏します。個人が好きなリズムを好きなように演奏することが基本です。しかし、お互いの音を聞きあいながら演奏することで、それぞれのリズムが織重なり、いつの間にか一つの音楽となっていきます。楽器を多めに用意しておりますので、ご参観される方も是非ご参加ください。

対象者:長崎大学教育学部附属小学校6年1組、長崎大学教育学部 学生有志
ファシリテーター:西田治(長崎大学初等教育講座 准教授)



書育 市民公開授業 11番教室

手紙を書こう①

一年の初めに届けたい言葉を添えて、年賀状を書く

授業について:子どもにとって、身近な手紙の形態である年賀状。送る相手を思い浮かべながら届けたい言葉を考え、その言葉に合った筆記具を選んで実際に書いてみます。そして、書いた年賀状の下書きを使って「なぜその言葉にしたのか、どういう思いで筆記具を選んだのか、自分なりの意図を説明します。そこが、今回の授業のポイントです。

学習者:長崎大学教育学部附属小学校6年1組
授業者:杉本直美先生

杉本直美先生

国立教育政策研究所教育課程研究センター 学力調査官(中学校国語担当)
平成20年3月まで、公立中学校に勤務
平成20年度中学校学習指導要領解説国語編作成協力者
主著:「自立した読み手が育つ読書生活デザイン-子どもが愛する読書指導-」
東洋館出版社 2010年

手紙を書こう②

様式を守って手書きされた手紙の価値を考える

授業について:手紙の様式に託された価値を知り、手書きされた手紙と活字で綴られた手紙との価値の差異について、小学生と大学生の交流を通して考えます。

学習者:長崎大学教育学部附属小学校6年1組と、
長崎大学教育学部(2、3年生)
授業者:千々岩弘一先生

千々岩弘一先生

鹿児島国際大学大学院教授
平成20年度中学校学習指導要領解説国語編作成協力者
主著:「国語科教育研究の成果と展望」
全国大学国語教育学会編(共著)明治図書 2002年



音育 「合唱」想いをメロディにのせて伝えよう 11番教室

この曲には、「はるか昔、人が言葉を知らないころ、気持ちを伝え合うために歌が生まれた。だから笑ったり話したりするように自然に歌を歌おうよ、歌は心をつなぐから」そんな願いが込められています。思いを伝える手段は、多種多様です。言葉、音楽、身振り手振り、表情など。今回は、音楽に言葉を乗せて、思いを伝えます。6年1組の歌声と思いが皆さんに届きますように。

演奏曲目:「ねえ歌おう」 作詞・作曲:中山真理

合唱:長崎大学教育学部附属小学校6年1組
指揮者:西田治(長崎大学初等教育講座 准教授) 伴奏:長崎大学教育学部 学生有志



12月23日
(木)

書育 講演 11番教室

演題:「ノートのカラー「ノート検定」の実践をふまえて」

内容:京都女子大学附属小学校で行っている「ノート検定」や「書くこと」を中心にすえた授業を通した、子どもたちの成長ぶりについて、お話いただきます。

講演者:吉永幸司先生

吉永幸司先生

京都女子大学発達教育学部教授、同附属小学校校長
滋賀大学教育学部附属小学校教諭(26年間)、
同副校長、公立小学校校長を経て、現職
主著:「吉永幸司の国語教室」、「新任教師力」など多数

音育 ドラムサークルとトーンチャイムのワークショップ SCS教室

音でコミュニケーションすることをドラムサークルで体験したのち、トーンチャイムの合奏を体験して頂きます。また、受講者には、この後、行われるサプライズ・コンサートで和音を披露して頂きます。音楽が苦手でも大丈夫!

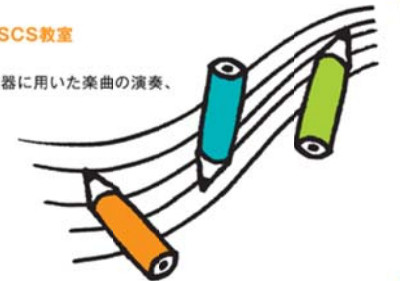
ファシリテーター:西田治(長崎大学初等教育講座 准教授)
参加者:小学校3~6年生の希望者



書育 & 音育 サプライズ・コンサート SCS教室

今回のイベントを象徴するコンサートです。筆記具であるエンピツを楽器に用いた楽曲の演奏、参加者によるトーンチャイム演奏など参加者を巻き込んだのホットするような和やかなコンサートです。

出演者:ドラムサークルとトーンチャイムのワークショップ参加者、
長崎大学教育学部 学生有志
指揮者:西田 治(長崎大学初等教育講座 准教授)
演奏曲目:エンピツを用いた合奏「おどるエンピツ」/作曲:柳沼てるこ
トーンチャイム合奏「もみの木」「小さな世界」ほか



書育 ワークショップ「実力アップノート作り」 504室

内容:思考力を育てる授業中のノートづくりについて実際に体験します。

ファシリテーター:吉永幸司先生(京都女子大学附属小学校校長)+
砂崎美由紀先生(同附属小学校教諭)、鈴木慶子(長崎大学教育学部教授)
参加者:小学校3~6年生児童とその保護者(20組×2クラス)



書育 デモ 525室

デジタルペンで書こう -デジタルペンで書くと、頭の中が見える!?-
株式会社 日立製作所 中央研究所知能システム研究部